名回稽古会　「重力の拘束」

稽古場での野口裕之先生の初期の活動は動法からだったと聞く。自分が習い始めの頃、動法というても掴みどころがないような、どこから手を付けたらいいのか分かりにくいものに思えていた。そして時は経ち、裕之先生はある日このようなことを仰った――「宇宙で動法してみたい」。

それ以来、この言葉がずっと頭に引っ掛かっていたのだが、ある時から、「自分はそもそも地球の重力に感覚が縛られているのでは？」と思うようになった。このことは、往年のアニメ「機動戦士ガンダム」シリーズの中で度々出てくる「地球の重力に魂を引かれた(縛られた)人々…」という台詞から着想を得た。

地球に住んでいる人々は重力に縛られている自覚が持てないまま新たな可能性を捨ててしまっている――こうした言葉を、どこか無自覚に前提として享受してしまっている物事を明らかにする指摘として捉え直すこと。そうすると、裕之先生の言葉も分かってくるような気がした。この指摘は、動法を学ぶ自分にも当てはまるのではないかと思ったのだ。

重力を感じていない人はいないだろう。ただ、それは物理的に物が上から下へ落ちるとか、体重が増えたとか、そういった現象のことを客観的に認識しているに過ぎない。今回取り組みたいと思っているのは、実体を伴わない身体感覚までもが重力に縛られているんじゃないかという視点の提示である。重力（物理）の拘束から、身体感覚が少しでも離れられる体験が共有される機会となることを希います。

（杉浦）

晴風学舎が設立されしばらくした頃、名古屋の杉浦氏から「何か一緒に出来たらよいね」と誘っていただいていた。自分も何が出来るのかと考えているばかりで、コレというものが出てこないでいた。そんな折、杉浦氏から「ちょっと稽古について書いてみた」と言って送ってくれた文章が、アニメの台詞から始まるものであった。しかも「ガンダム」という癖のあるアニメ。

裕之先生の「宇宙で動法」は何度か聞いていたし、自分は古式泳法を習っているので、水中での感覚や動きは、畳の上では見落としてしまう何かに気づけるのではないかと思っていた。

どのような稽古になるかはわかりませんが「重力の拘束」という切り口から稽古してみたいと思います。

（服部）

【日時】　二〇二六年　十二月二十四日（木）

十一時～十四時三十分（休憩あり）

【会場】　石神井稽古場（東京都練馬区）

【会費】　三千円（税込）

【定員】　八名程度　※晴風学舎会員に限らせていただきます

【担当】　杉浦博孝（技術研究員）

服部陽一（技術研究員）

【予約】　０８０－７９３３－９１３６　（服部）

hattori8041@ymobile.ne.jp